



壇遼“ギターとの対話”vol.3

THE ART OF KEITH JARRETT

ケース・ジャレットの芸術

出演

壇 遼(ギター)

松本富有樹(ギター)

松下隆二(編曲・ギター)

曲目

KOLN CONCERT PART2C

I LOVES YOU PORGY

MY SONG

SHENANDOAH

COUNTRY

GOLDBERG VARIATIONS

他

孤高のジャズ・ピアニスト、ケース・ジャレット。

彼の音楽芸術を新たな視点から読み解き、

3名のクラシック・ギタリストが音の宇宙を創造する。

これは前人未到の挑戦であり、

音楽芸術における創世記である。

2026.4.19(日) 14:00開演(45分前開場)

会場:柳川市民文化会館イベントホール 柳川市上宮永町43番地1 TEL0944-73-7777

チケット:3,000円(全席自由) 柳川市民文化会館窓口及びeプラスにて1月17日より販売

主催:柳川市民文化会館自主事業実行委員会

壇遼“ギターとの対話”vol.3

THE ART OF KEITH JARRETT

キース・ジャレットの芸術

《出演者プロフィル》



壇 遼(だんはるか)

福岡県みやま市出身。母の影響でギターを始め、14歳よりギターを石橋正一、池田慎司両氏のもとで研鑽を積む。これまでに国内外の多数の演奏家のマスタークラスを受講。第38回山口ギターコンクール上級の部優勝。第58回九州ギター音楽コンクール次席。ソロ演奏をはじめ様々なジャンルの演奏家との共演など、県内外各地で演奏活動を展開している。2016年1stソロCD『natural』、2021年2ndアルバム『The trinity of Celtic music』をリリース。また国内では珍しいイングリッシュギターでも演奏活動を行う。はるかギター教室(みやま市・大牟田市)主宰。糸島市在住。



松本富有樹(まつもとふゆき)

大分県湯布院出身。クラシックギターを中野義久、レオナルド・ブラー、福田進一の各氏に師事。2011年からバーゼル音楽院(スイス)に留学。パブロ・マルケス氏に師事し、ルネサンス時代から現代までの音楽を幅広く学ぶ。2015年同校の学士を満場一致の最高点で卒業。2017年から同校古楽科にて巨匠ホブキンソン・スミス氏に師事し、ルネサンスギター、バロックギター、19世紀ギターなど各時代の異なるギターを学ぶ。第1回韓国国際ギターコンクール首席2位。2020年に1stアルバム『ロス・マエストロス』を発売。



松下隆二(まつしたりゅうじ)

福岡市出身。7歳よりクラシックギターを始める。いくつかの国内ギターコンクールに優勝したのち渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学し研鑽を積む。帰国後はソロ・リサイタルの他、編曲に基づく様々な楽器とのアンサンブルに力を入れる。これまでテレビ、ラジオの出演や数々のレコーディングを経験する。2012年より唐人町ギター教室(福岡市中央区)を主宰し、個人レッスン及び生徒によるアンサンブル活動にも力を入れている。これまでに故坂本一比古、故A.ポンセ、P.マルケスの各氏に師事。故ホセ・ルイス・ゴンサレス、L.ブローウェル、P.ロメロ、福田進一各氏のマスタークラスを受講。

《キース・ジャレットについて》



1945年アメリカ合衆国生まれのピアニスト。一般にジャズ・ピアニストとして知られているが、バッハやヘンデルなどのクラシック音楽も取り上げている。またピアノ以外にもオルガン、ギター、ソプラノサックス、ドラム等々も演奏する才能を持っている。彼の名を一躍有名にしたのが1975年にリリースされた「ケルン・コンサート」(写真)で、即興演奏の極致といわれ世界中に大きな衝撃を与えた。その後、ゲイリー・ピーコック(ベース)、ジャック・ディジョネット(ドラムス)とトリオを結成し、スタンダードを中心とする演奏をくりひろげ、再び世界を席巻した。2018年に脳卒中を発症し、左半身まひのために再起不能といわれたが、近年では右手のみでの演奏を徐々に再開している。